

| | |
|--|---|
|  <p>放送大学香川学習センター</p> <h1>ほうゆう 瀬戸の風</h1> | <p>記念号</p> <p>発行：放送大学香川ほうゆう同窓会 発行責任者：会長 宮北 薫 編集：会報編集委員会 発行日：令和5年11月25日 会員数：270名（11月1日現在）</p> |
|--|---|



学歌斉唱



有馬所長より祝辞



功労賞授与



大橋教授の講演

日 時：令和5年(2023年)10月8日(日)

場 所：放送大学香川学習センター大講義室(8階)

<発行：令和5年10月8日 香川ほうゆう同窓会>





<目次>

| | | | |
|-----|---|------------------|----------|
| 1 | 記念式典を終えて | 香川ほうゆう同窓会会長 宮北 薫 |1P |
| 2 | 放送大学香川ほうゆう同窓会発足並びに ほうゆう会設立30周年・香川同窓会設立20周年記念行事 | |2P |
| 3 | 感謝状贈呈に関して長きわたる功労を称えます | |3P |
| 4 | 記念行事点描 | |4P |
| 5-1 | 記念行事式典写真集 | |5P |
| 5-2 | 記念行事祝賀会写真集 | |6P |
| 6 | 発足と周年の記念に際して | |7P |
| 7-1 | 身に着けた語学をもって社会奉仕を～記念号に寄せて～ | |10P |
| 7-2 | 中国語サークルの回想 | |12P |
| 7-3 | 韓国語サークルの思い出 | |14P |
| 7-4 | ロシア語による自己紹介 | |16P |
| 7-5 | インドネシア語による自己紹介 | |17P |
| 8 | 令和5年度卒業研究ガイダンス並びに卒業研究発表会の開催 | |18P |
| 9 | 令和5年度島ネット『香川本鷹』唐辛子の手島へ | |19P |
| 10 | 久しぶりの学生研修旅行～JFE スチールと倉敷～ | |20P |
| 12 | 第9回放送大学同窓会中国・四国地区交流会島根大会 | |21P |
| 13 | 令和5年度香川ほうゆう同窓会役員・編集後記 | |22P |



記念式典を終えて

香川ほうゆう同窓会 会長 宮北薫



令和5年10月8日(日)この日の午前10時定刻に、私は香川学生センター8階の大講義室の講義卓のマイクの前に意義を正して立ち、万感の思いを込めて、「本日ここに香川ほうゆう同窓会発足並びにほうゆう会30周年、同窓会20周年の記念式典を挙げるにあたって」と式典の開会を告げた。

来賓の方々のご尊顔、表彰を受ける方々の面持ち、この式典に参列していただいた方々のお姿を見渡して、ほうゆう会と同窓会が合同するに至った経緯や、それぞれの会が20年や30年という長い年月にわたってそれぞれの歩みを続けてきた意義にふれ、多くの方々的一方ならぬご協力に感謝の言葉を述べた。

そして、二つの会が一つの会として纏まり、これからも、これまで以上に放送大学で学び香川学習センターに集う意義を確かなものにしていくため、数々の行事を実施していくと力強く述べて、記念行事の挨拶とした。これに続いて、有馬センター長より、いともご丁寧なるお祝辞を頂いた。荘重に流れるお言葉を耳にすると今後とも一層、センターのご指導を仰ぎつつ、これまでの二つの会が積み重ねてきた伝統を汚さぬようにして、さらなる発展を目指す決意が胸の内に湧いてきた。

功労者の表彰には、この協力と献身があるからこそ、この会の今があるのだと感謝の念を込めて、一人ひとりに表彰状を手渡した。当たり前のことをしてきたまでのことを功労と認められた、今後ともこの当たり前のことをし続けていくとの答辞には一層感謝の念を抱いた。ご来賓の紹介の折には、ご尊顔に黙礼をし、同窓会会長よりのメッセージはあらかじめ印刷資料として配布し、祝電は一同に披露した。

大橋理枝教授の講演それに続く祝賀会を無事に終えて、記念行事のすべてが終わった快い疲れを感じながら家路についた。思えば、コロナ禍でセンターが閉所となっていたころ、実行委員会を立ち上げ、実施に向けて計画案を策定して、式典の進行手順や人員の配置、配布する資料等について何度も打ち合わせをし、ようよう実施に漕ぎつけたものであった。

全員が一致協力して至らぬ私をよく支えてくれたと、感謝の気持ちでいっぱいです。ご来臨頂いたご来賓の方々、お祝の言葉や記事をお寄せ下さった方々、式典当日において参加者の案内や、会場内の整理、会費の集金と支払い等に奔走していただいた方々、万障繰り合わせてご参加いただいた学友の皆様方にこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

放送大学香川ほうゆう同窓会発足並びに

ほうゆう会設立30周年・香川同窓会設立20周年記念行事

令和5年4月、ほうゆう会と香川同窓会は合併いたしました。合併に向けて、会議を何度も重ねながら準備を進めてまいりました。そして、令和5年3月に発足総会を行い承認されました。2つの組織が合併し新しい組織が誕生したことで、これからの活動への機運や期待が大いに高まりました。

会の名称は、「香川ほうゆう同窓会」です。「ほう」は「放、朋」。「ゆう」は「友・遊」を意味します。先々とても楽しみな名称だと思います。

そして、令和5年10月8日に記念行事を開催する運びとなりました。以下、概要を記します。

1 記念式典

司会：松原 泰子

- ・開会の辞（市原 義博 副会長）
- ・学歌斉唱（クラシック音楽サークルの伴奏、歌による）
- ・香川ほうゆう同窓会会長挨拶（宮北 薫 会長）
- ・香川学習センター所長挨拶（有馬 道久 所長）
- ・来賓紹介、祝辞・お祝いのメッセージ披露（藤本 芙佐子 副会長）
- ・功労者表彰（9名）
- ・謝辞（渡辺 義雄 氏）
- ・閉会の辞（市原 義博 副会長）



2 活動紹介・発表

- ・日本近代史研究サークル（ビデオによる発表）
- ・中国語サークル（寸劇、太極拳）
- ・クラシック音楽サークル（作曲家、曲、楽器等に関するクイズ）
- ・英語サークル
（栗林公園、玉藻公園、讃岐うどんをスライドと英語で紹介）
- ・活動紹介（ほうゆう同窓会の目的、組織、活動等をスライドで紹介）



3 公開講演会

- ・講師：放送大学教授 大橋 理枝 先生
- ・演題：「体は口ほどにものをいう

～非言語コミュニケーションのあれこれ～

大橋先生の身ぶり手ぶりを交えたご講演は、大変親しみやすくとても分かりやすかったです。大橋先生の表情も大変豊かで大いなるメッセージを感じました。



4 祝賀会

- ・主催者挨拶（宮北 薫 会長）
- ・来賓挨拶（放送大学教授 大橋 理枝 様）
- ・開宴の挨拶並びに乾杯（前香川学習センター所長 大平 文和 様）
- ・歓談（徳島同窓会会長 柳本 聖 様の挨拶）
- ・終宴の挨拶並びに乾杯（前香川学習センター広報主幹 徳田 仁司 様）



“学習センターに大きく感謝” “今後も全員仲良く！” とてもよい一日でした。（藤本 芙佐子 記）

感謝状贈呈に関して長きにわたる功労を称えます

渡辺義雄様

長きにわたって我らのご意見番として、時に厳しく、時に温かく、ご指導を頂きました。学び続けることの大切さを、そして、何にもまして自由に学べることの意義を常に説き続けておられました。

岡部元一様

30年前、ほうゆう会の設立に大いに力を発揮し、爾来、その運営と活動に尽力されました。今回は、ほうゆう会と同窓会の統合に向けて優れた指導力を発揮し、これを纏めてこられました。

西原由紀子様

15年余の長きにわたり、ほうゆう会の会長の職にあり、ほうゆう会設立20周年行事も実施する等、ほうゆう会の運営に大いに力を発揮して来られました。また、グランドスラムを達成し、私たちの模範となっております。

宮地豊二様

ほうゆう会副会長の職にあり、入学式、卒業式、島ネット等のあらゆる行事や活動に際して、写真撮影を引き受けていただいております。高価なカメラを自費で買い求め、それを用いてのアカデミックガウンを着用しての写真撮影には、大変なご好評をいただいております。

市原義博様

長きにわたり、ほうゆう会事務局長の職にあり、会報の発行やほうゆう会活動の裏方としてご尽力を頂きました。

西村博子様

ほうゆう会において長らく会計の職を担当していただきました。また、グランドスラムを達成されております。

藤本芙紗子様

香川同窓会の会長の職を長きにわたって勤めて参りました。卒業研究発表会、島ネットの実施そのほか同窓会の活動において主導的な役割を果たして来られました。グランドスラムを達成しておられます。

大北穆様

香川同窓会の会長を長きにわたって務めてこられました。

関 義久様

香川同窓会の会長を長きにわたって務めてこられました。

記念行事点描

市原副会長が、厳かに記念式典の開会を宣言して、宮北会長が粛々と記念式典の挨拶をした。これに続き有馬所長より、丁重なるお祝辞を頂いた。ご来賓の方々の紹介には、一人ひとり名前を呼ぶと同時に、氏名を筆字で書いた大きな用紙を高々と掲げてご尊顔と名前を強く印象付けた。

功労者の表彰理由をにつきましては「感謝状贈呈に関して」で、それぞれの事績を記していますのでご一読をお願いします。

今回は四つのサークルが活動の発表をしました。近代史サークルでは共通のテキストを読み、自分が研究を深めた点をレジюмеに纏めて発表する、それに対する質問と回答をして、さらに理解を深める。スカイプを活用して、遠隔の博物館等の学芸員の講義を聞くなどのユニークな活動もしているとパワーポイントを使って活動内容を紹介した。

次は、中国語サークル。西安を訪ねた、日本人観光客が、公園内で現地の人が太極拳をしているのを見て、その場で、太極拳を習う。お礼を言って分かれるまでを、中国語のセリフによる寸劇として演じていた。

クラシック音楽サークルは、良く知られたクラシック音楽から、クイズ形式の問題を出した。出題の意図や背景の解説もクラシック音楽の造詣を深めるもので好評を博した。最後まで正解をした4名の人に賞品を渡していた。

英語サークルは、スクリーンに映し出された栗林公園と玉藻公園を英語で案内するものであった。公園の来歴や見どころを巧みな英語で説明した。我が郷土はうどん県の異名をとる。そこで日頃行きつけのうどん店を自分なりの英語で紹介していた。

大橋理枝教授の公開講演は、みんなが待ちに待ったもの。教授は、英語の専門家として、「ビートルズ de 英文法を」では、自らがビートルズのナンバーを歌っており、放送大学ならではのユニークな授業で人気を博している。「グローバル時代の英語」や「英語で道を語る」などの講座も担当されている。今回の講演は「体も口ほどにものをいう: 非言語コミュニケーション」で、ご自身のアメリカの留学先での体験を交えて、顔の表情や目線の動き、何気ない仕草までもが言葉で表す以上のコミュニケーションの役割を果たすと述べておられた。演題のとおり大きな身振り手振りを交えての講演は、一同の期待以上のものがあつた。

祝賀会は、ご馳走と、飲み物を前にしての挨拶は短くやれと言うのが親の遺言だと一同の笑いを誘っての開会となった。ご来賓の大橋教授と徳島同窓会会長の柳本様からご挨拶を頂いた。談笑の中心には大橋教授の笑顔があつた。講座の録画収録にまつわる苦労話や、語学を身に着けるコツなど、是非とも聞いてみたいことがあると大勢の者に取り囲まれていた。旧友との再会に談笑は尽きない。ご馳走はお腹に収まりビールはのどを潤し、舌を滑らかにする。大平センター所長の開会の乾杯に始まり、前徳田広報主幹の中締め乾杯に終わった祝賀会も思い出に残ることとなるであろう。

記念行事式典写真集



受付風景



開会宣言



音楽サークルによる学歌斉唱



来賓紹介



中国語サークルの発表



英語サークルの発表



香川ほうゆう同窓会経歴紹介



大橋理枝教授の講演

記念行事祝賀会写真集



大橋教授のご挨拶



記念品贈呈



乾杯の音頭



会場全景



歓談風景 1



歓談風景 2



歓談風景 3



中締め

発足と周年の記念に際して

高橋房子

この度、これまでのほうゆう会と同窓会が合同して新たに香川ほうゆう同窓会として発足する、並びにそれぞれの会の三十周年と二十周年を記念するとの事でその式典にご案内を受けました。

しかし、高齢で足腰も弱っており遠出をすることもかありませんので、参加はお断りをさせていただいたものです。「竹、節ありてこそ強し」の言葉もありますように、こうした節目になる機会をとらえて思い出に残るような記念行事をすることは真に結構なことだと存じております。

記念行事のあとには記念誌を発行するやに承っておりますので、そこで、私は縁あって歌の道に進んだものとして、これまでに詠んだ歌をそえてお祝の記事をお送りしたいと存じます。

職場の同僚に誘われて短歌の会にお邪魔をすることになり、そこで作歌の手ほどきを受けました。風景の一角を、一陣の風に揺れる草花を、空に飛ぶ鳥の羽ばたきを見たときの心のときめきを、日常の何気ない一瞬の思いを三十一の文字で切り取るのだとの教えを受けました。

私は空を飛ぶ鳥の軽やかな動き、万里の波濤を超えて季節を忘れずに巡りくる渡り鳥達の姿に生命の力強さを感じてよく鳥を題材として歌を詠みます。

足摺の切り立つ崖に住み慣れて首柔らかに海鷗ら眠る

—昭和の萬葉集(卷十八)自然の姿・鳥—

共働きで夫とは二人三脚の人生でした。しかも転勤続きで何かと気苦労は絶えませんでした。

慣れぬ手に算盤はしく夫の側ビタミン剤の瓶ころがれり

転勤の辞令受け来し夫とわれ凍てつく夜を寝返り続く

玉藻良し、讃岐の地の沙弥島には、歌聖 柿本朝臣 人麻呂が荒磯に横たわる人を悼み歌を詠んでいます。悠久の時の流れの古今と、目前の事物の大小がくつきりとしたコントラストをなしていました。

人麻呂の石碑を仰ぐ空淡き夕光に鸞二つ舞ふ

鳥またぐ橋脚空にそそり立ち働く人ら小人のごとし

人麻呂がうた詠みましし沙弥島に仰ぐ大橋電車往き交ふ

学びの道を歩むとき、良き師との出会いほど生きていることの幸せを感じることはありません。

宮 終二先生との出会いがそれです。

空港の闇を背にして礼深き師なりぞトに胸あつく侍

宮先生につき従いたる幸ありき昭和四九年の松山大会

乳がんの手術を受けた後の長らくの入院のときには、ただただ、夫と暮らしているわが家が恋しいものでした。退院をしてからは健康であることの幸せを心からかみしめて暮らすようになりました。

去年植ゑし牡丹の花の顔ほどに咲くとし聞きて家を恋しむ

我が子をなすことはかなわなかった身ですが、やはり女の身です。たとえ誰の子であろうとも生まれてくる子供はこの世を引き継ぐものと受け止めています。握りしめたごぶしは地球の未来をにぎっているのです。

保育器にごぶしをあげて又伸せり生まれて四日の新人類^{ホモサピエンス}

母親を見送ったのも人生の一つの区切りでした。あの日のあの笑顔は今も心にしつかり残っています。

苦をはなれ欲得はなれ惚けたる母なり神に近き笑ひす

転勤が多かった私たちは、生まれ故郷を離れて四国中を転々としました。住み慣れたところを離れ、親しかった人とお別れをする、また、新しい土地で新しい出会いがあり、その人々と深く結ばれてゆく。出会いと別れの連続でした。

鮭のごと同志会に帰り来し友ら懐かしむ故郷の山河

放送大学で学んだ日々は私の人生の中でも特に充実したものでした。送られてきたテキストを開らく時のあの感動。今から高い山を一步ずつ上るといふ決意とそれに続く苦行。試

験を受けに学習センターに向かう朝の胸のときめき。試験の結果を見るときの胸のドキドキ。学友との語り。今も忘れることはありません。

夫は―我は放送大学一年生部屋あかあかと点して学ぶ
不出来なる試験結果を思ひたゆたへるころろ立て直すわが
家近く

座席カバー電車に替ふる男らのいそしみ見てをり試験終へ
きて

放送大学卒業学位記授与式の通知をいただきぬ癒やめる
われ

四年間学び卒へたる学位記の免状を抱く才へ受けし胸に

夫と二人で歩んできた私の人生の長い道のりも、終わりに近づいたと思った時でした。

子の無くて延命治療は不要です夫と互みに遺言書を書く

肺気腫の夫とがん病む私とお世話になりましたと先逝くは

誰

さてさて、とは言ったものの一病息災の言葉もありますように、日々の食事にも、適度な運動にも生活のすべての面に気を付けて生きてきたからでしょうか、九十歳を前にしてまだ元気でいられます。

お招きいただきました記念のためにこうして、拙い文を編み上げてせめてものお祝いの言葉とさせていただきます。

振り返れば、歌あり、良き師あり、良き学友ありの人生でした。これからも、体に気を付けて、九十歳を超えて、百歳を目指すつもりです。我が身に至る死を未だ想わずの心を持って。

更けゆく秋の夜 草むらに鳴く虫の音を聴きつ 筆をおきます。

身に着けた語学をもって社会に奉仕を 記念号に寄せて

放送大学は、語学に関する科目が多く、面接授業においても会話に役立つ講座等が頻繁に実施されている。身に着けた語学をもって観光客に郷土の名所や旧跡を案内する等の活躍をしている頼もしい学友も多数いる。今回、記念誌を発行するにあたり、お祝の意味を兼ねて我ら放送大学生ここにありの意気を示したいと原語で書いた記事をお送りいただきました。

郷土の誇る名勝 栗林公園を案内して

Harabuchi Kayo 原渕加代



I'm studying in the Humanities and Culture Course. I'm interested in languages, and I'm a volunteer guide of Ritsurin Garden, and I guide mainly in English. I'm also interested in and learning about local history, culture, and literature that might be useful for a guide. I started learning Korean during the second year of the COVID-19 pandemic. I would like to guide Ritsurin Garden in Korean someday. The four days and three nights trip to Korea in May, which was

coordinated by my Korean teacher, was very enjoyable.

Most of the people I meet as a guide are once in a lifetime opportunities, but sometimes I keep in touch with them on SNS, such as Facebook and Instagram and continue to interact with them. I have many memories as a guide, but I would like to introduce a unique experience.

In Ritsurin Garden, I have guided a Chinese man who was studying Japanese in Kyoto. He said he would show me around when I came to Kyoto, so I went there. As a Japanese, I had a Chinese guide me around Kyoto in English. What do you think? It's rare, isn't it? Cross-cultural communication is fun.

I would like to learn not only English but also various knowledge, and I would like to tell more people how wonderful Ritsurin Garden, which I love, is.

人間と文化コースで学んでいます。語学に興味があり、栗林公園でボランティアガイドをしており、主に英語で案内をしています。ガイドに役立つであろう郷土史、文化、文学などにも興味があり勉強しています。コロナ渦の二年目に韓国語を習い始めました。いつの日か韓国語で栗林公園を案内したいと思っています。韓国語の先生がコーディネートして下さった五月の韓国旅行はとても楽しかったです。

ガイドで会う方々のほとんどは一期一会ですが、時折 SNS の Facebook や Instagram で



繋がり、交流が続くこともあります。ガイドとしての思い出は沢山ありますが、ユニークな体験を一つ紹介したいと思います。

栗林公園で、京都で日本語を勉強中の中国人を案内したことがあります。京都へ来るなら彼が案内してくれるというので京都へ行きました。日本人である私が中国人に英語で京都を案内してもらったのです。どうですか？ 珍しいでしょ？ 異文化交流は楽しいです。

英語だけでなく、様々な知識を身に付け、私が大好きな栗林公園がどれほど素晴らしいかを多くの方々に伝えていきたい。

芳野紀子

I'm Noriko Yoshino and I study at The Open University of Japan for about ten years. I think that one of the joys of studying at the Open University of Japan is the joy of knowing what I don't know. There's a lot left to learn for me. I'm trying to get a qualification as a certified psychologist now.

I live near the ruins of Tamamo Castle in Takamatsu City and I'm a volunteer guide of Tamamo Guide Clube. And I sometimes go there and show foreign tourists around in English for free. Their smiles and thanks after the guide in my poor English makes me very happy. By being a guide in English, I hope we'll be able to deepen international exchange. My major at college isn't English. But I got interested in English and studied not only by myself but also at conversation class. And I think I need to bluish up my English conversation skills. Someday I'd like to explain something not in difficult English but in easy one. Simple is best, if it's possible, I think.

芳野紀子と申します。放送大学で学んで約10年になります。放送大学で学ぶ喜びは、知らないことを知ることだと思っています。まだまだ学ぶべきことは多いです。私は今、認証心理士の資格を取ろうとしています。今は、高松市の玉藻城の史跡の近くに住んでおり、玉藻城のボランティアガイドクラブに入っています。そして、時々そこへ外国人旅行者を英語で案内しています。彼らの笑顔や感謝の言葉を聞くと私のつたない英語でも喜んでもらったものと思い、こちらも幸せを感じます。英語のガイドをとおして、私は国際交流が深められたらと期待しています。大学時代は英語が専門教科ではなかったのですが、英語に興味を持ち、一人でではなく英会話クラブに入会して学んでいます。そして、私は英会話のスキルを磨き、いつの日にか難しい英語ではなく簡単な言葉で事柄を表現したいと思っています。簡単なものが最高だと言う言葉の通り。

中文社团的回忆 中国語サークルの回想 渚 正幸

w ō zuòwéizhōngwénshètuán de fù zé rén yǐ jīng nián le w ō men
我作为中文社团的负责人已经11年了。我们

j ū bàn le xué xí l ǚ xíng j ù cānhuì k ā l ā shǎnghuāhuì
举办了学习、旅行、聚餐会、卡拉OK、赏花会、

duǎn jù biǎoyǎnděng gè zhǒng gè yàng de huódòng
短剧表演等各式各样的活动

q í zhōngzhí dé huí yì de nián yuè q ù shàng hǎi s ū zhōu de
其中值得回忆的2012年8月去上海、苏州的

zhōngguó l ǚ xíng w ō men hé zhōngguó de l ǚ xíngshèzhí jiē jiā shè
中国旅行。我们和中国的旅行社直接交涉，

jiān k ǔ dì zhì dìng le l ǚ xíng j ì huà zài dāng shí zhāng lǎo shī de q īn q ī
艰苦地制定了旅行计划。在当时张老师的亲戚

de fàn diàn wú mén rén jiā j ǔ xíng le yàn tā men wèi w ō men p ū shàng hóng
的饭店吴门人家举行了宴。他们为我们铺上红

d ì tǎnyíngjiē w ō men n à zuòjiànzhù wù bèi zhǐ dìng wèi zhōngguó zhòng yào
地毯迎接我们。那座建筑物被指定为中国重要

wén huà y í chǎn w ō men xiǎng yòng le há huá de gōng tíng měi shí w ō men
文化遗产。我们享用了豪华的宫廷美食。我们

de shì j ì hái bèi s ū zhōu de bào zhǐ bào dào d āng wǎn w ō men r ù zhù le
的事迹还被苏州的报纸报道。当晚我们入住了

céng shì jiǎn jiè shí bié shù de w ǔ xīng jí ji ǔ diàn nán yuán bīn guǎn l ǐng rén
曾是蒋介石别墅的五星级酒店南园宾馆。令人

jīngtàn de shìcóngfángjiānzhōng kě yǐ kàndào yù shì hé cè suǒ
惊叹的是从 房 间 中 可以看到浴室和厕所。

yǒu míngcān jiā měirén wàn rì yuán de rì xiǔwǎnzhī lǚ shì
有 15 名 参加每人6万日元的4日3宿晚之旅，是

xiànzài wú fǎ xiǎngxiàng de yí cì chōngshí de lǚ xíng
现在无法 想象的一次 充实的旅行。

中国サークルの世話人として11年になります。学習や旅行、食事会、カラオケ、
花見会、寸劇といろいろな行事をしてきました。

なかでも思い出に残るのは2012年8月に行った上海、蘇州の中国旅行です。中
国の旅行社と直接交渉し苦勞して旅行計画を立てました。当時の講師で張先生の親戚
の呉門人家での食事会は忘れられません。私たちのために門の入り口からレッドカー
ペットを敷いて迎えてくれました。建物は中国重要文化材に指定されている由緒ある
建物です。私たちは豪華な宮廷料理を頂きました。蘇州の新聞にも私たちの記事が掲
載されました。その夜に蒋介石の別荘であった五つ星ホテル南園賓館に泊まりました。
驚いたのはバスルームとトイレが部屋から見える造りになっていることでした。

15名の参加者で一人6万円三泊四日、での今思っても考えられないぐらい充実した
旅行でした。

한국어 서클의 추억 韓国語サークルの思い出

全科履修生 社会と産業コース

船場たか子

제가 방송 대학에 입학한 2012년 한국어 서클에 가입했습니다. 가입 계기는 대학 입학했을 때, 설명회에서 자기소개로 한국을 좋아한다고 하는 사람과 친구가 되어, 그 친구를 통해 한국어 서클을 소개해 주었습니다.

그 날 6월에 한국 이화여자대학교에 한 달 동안 유학해 돌아와, 늘 한국어를 공부하려고 하고 있었던 것이었기 때문에, 좋은 기회였습니다.

특기 할 만한 것은 처음에 한국어 서클을 시작한 분들은 다 방송 대학 선배이고 호유우카이 임원을 맡고 있는 분들이라 시험 대책을 가르쳐 주거나, 방송 대학에 입학해서 익숙하지 않았던 저도 학교에 익숙해질 수 있어 고마운 것이었습니다.

서클에서는 어학 공부뿐만 아니라 한국의 문화도 알자는 방침이었습니다. 선생님은 카가와 대학에 와 있는 유학생 분들이었습니다. 모두 1년에 유학을 마치기 위해 몇 명의 선생님들에게 가르쳐 주었습니다만, 성격이 좋은 사람만으로 교과서에 없는 젊은 사람들이 사용하는 말을 가르쳐 주거나 수업은 아주 즐거웠습니다.

또 서클 활동을 통해 한국 방송 대학 분들과 알게 되고, 서로 교류한 것도 좋은 추억입니다. 그 중 한 사람, 정우리씨와는 아직도 교류하고 있습니다. 그녀가 일본에 오면 만나서 제가 한국에 가면 만나는 식입니다. 유감스럽게도 유학생이 없다거나 점점 선생님을 찾기가 어려워져서 서클 활동은 끝났습니다만, 서클 활동에서 제일 인상에 남아 있는 것은 뭐니뭐니해도 다같이 함께 간 한국 여행입니다. 서울은 물론 제가 가본 적이 없던 신라나 백제의 수도였던 경주, 부여에도 가고 훌륭한 박물관을 견학하거나 유적을 보고 한국 역사의 깊이를 실감하고, 평생 잊을 수 없는 추억이 되었습니다.

百濟の香炉



私が放送大学に入学した2012年,韓国語サークルに入会しました。

入会のきっかけは大学入学時のオリエンテーションの時、自己紹介で韓国が好きだという人と友達になり、その友人を通じて韓国語サークルを紹介してもらいました。

その年の6月に韓国の梨花女子大学に一月短期留学して帰ってきて、常に韓国語を勉強し続けようと思っていた所だったので、いい機会でした。

特記すべきは最初韓国語サークルを立ち上げた方々はみなさん放送大学の先輩で、ほうゆうかいの役員をされている方ばかりで、試験の対策を教えてもらったり、放送大学に入ってすぐの不慣れだった私も学校に馴染むことができ、有難いことでした。

サークルでは語学の勉強だけでなく韓国の文化も知ろうという方針でした。先生は香川大学に來ている留学生の方々でした。皆さん一年で留学を終えるため何人もの先生方に教えてもらいましたが、性格がいい人ばかりで教科書にない若者言葉を教えてもらったり授業はとても楽しかったです。

サークルの活動を通じて韓国の放送大学の方々と知り合い、お互いに交流したのもいい思い出です。その中の一人、**정우리**さんとはいまだに交流しています。彼女が日本に來たら会い、私が韓国に行つて会うという風です。

残念なことに留学生がいなないなど、だんだん先生を見つける事が難しく、サークル活動は終わつてしまいましたが、サークル活動で一番印象に残っているのは何といつてもみんなと一緒に行った韓国旅行です。

ソウルはもちろん、私が今まで行ったことのない、新羅や百濟の首都だった慶州、扶余などへも行き、素晴らしい博物館を見学したり遺跡を見て、韓国の歴史の深さを実感し、一生忘れられない思い出になりました。

Меня зовут Каору Миякита. Мне 77 лет.

Я живу с женой. У меня есть одна дочь

и один сын. Они женаты и живут отдельно.

У меня четверо внуков.

Я студент открытого университета там.

Где студенты учиться только заочно.

Я изучаю современную историю и японскую культуру.

Мои хобби чтение и краоке.

Я часто пою с друзьями. Мне нравятся "Енка"

лирические японские песни традиционного стиля.

Я также пою с китайском, корейском и испанском языках.

Я хочу уметь петь Катюшу русском языке.

私は宮北薫と申します。77歳です。妻と二人で暮らしています。娘が一人、息子が一人います。二人は結婚して別のところに住んでいます。孫は4人います。

私は放送大学、一そこでは学生たちが通信教育学生として学んでいる一の学生です。近代史と日本文化を学んでいます。

趣味は読書とカラオケです。友達とよく歌いに行きます。

日本の演歌—抒情的な日本の歌で伝統的な詩による一が好きです。私はまた、中国語、韓国語、スペイン語でも歌います。ロシア語でカチューシャを歌えるようになりたいものです。

Perkenalkan. name saya Koriko Tabuchi. Panggil saya Kaori. saya sudah Pensiun, tetapi sekarang saya mahasiswa di Universitas Hoso. Hobi saya membaca buku mendengar musik dan bermain pulse. Saya suka jugs barkebun. Msim Panas ini, saya menanam buni labu, tetapi tahun ini semua labu tidak jadi Besar, layu, karena terlalu panas dan cahaya matahari terlalu kuat tahun ini.

初めまして。私の名前は田淵かおり子です。かおりと呼んで下さい。

私はすでに年金生活者です。しかし、今、私は放送大学の学生です。私の趣味は本を読む事、音楽を聞く事、そしてパズルを解く事です。私はまた、庭で働く事も好きです。この夏、私はカボチャの苗を植えました。しかし、今年はすべてのカボチャが大きくなりませんでした。というのは、この夏はあまりに暑く、太陽の光があまりにきつかったからです。



放送大学の講義では、いずれインドネシアが世界で最も多くのイスラム教徒のいる国になるそうです。国教は三つ。しかし、どの信仰をしていても、異教徒を攻撃する事はなく共存をしているのはとても素晴らしいと思いました。

令和5年度 卒業研究ガイダンス並びに卒業研究発表会の開催

日時： 令和5年6月11日(日) 10時30分～12時

放送大学香川学習センター 大講義室(8階)

1. 挨拶 有馬道久 香川学習センター所長
2. 卒業研究履修の手引き 放送大学
卒業研究履修について PowerPoint
3. 卒業研究のすすめ 有馬道久 香川学習センター所長
4. 卒業研究発表 ポランニーの「暗黙知」の概念が誕生する課程に関する研究
発表者 宮脇 一正 (心理と教育コース)



藤本副会長から宮脇さんへ「雲外蒼天賞」の贈呈

雲外蒼天賞

あなたに相応しいこの『雲外蒼天賞』は
どんなに困難が立ちはだかっているも雲を突き抜け、
乗り越えた時、その先にある素晴らしい青空があなた
を待ち受けているといった奥深い意味です。
どうぞお受け取り下さい。

香川ほうゆう同窓会

メッセージカードの贈呈

『香川本鷹』唐辛子の手島へ

島ネットと称する瀬戸内島めぐりは、元香川大学長 岡市友利 先生(後に放送大学香川学習センター長)の考案で、島々を訪問し島の方との交流を目的としています。今回、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催で、猛暑による熱中症や台風接近の心配もありましたが、無事に実施することができました。

手島は、丸亀港の北約21kmの瀬戸内海に位置し、ここでのみ「香川本鷹」が栽培されています。以前、「香川本鷹の栽培者がおらず、終了か？」との新聞報道がありましたが、暫くして、「新しい後継者が出現！」と新聞に掲載され、ほっと安堵した覚えがあります。

新しい栽培者は、善通寺市出身で武蔵野美大卒業の若き芸術家 高橋周平 氏です。

高橋氏は、「大学在学中に度々訪れていた瀬戸内海の手島で、農業を主体としながら日々過ごしています。島の自然とそこで人が暮らす景色を自分の手でつくり残したいという気持ちから、手島特産の香川県在来品種である『香川本鷹』の栽培に取り組んでいます。」と語られています。とても素敵なお話です。

私たちは、このような魅力のある手島を訪れ高橋氏とお会いしたいと思い、丸亀市役所観光課の方と連絡を重ねました。そして、高橋氏とつながることができました。

4月中旬、東かがわにある当方の畑のピーマンが育ってきたので、香川本鷹が気になり始めました。高橋氏にSMSで「苗を見せていただきたい。」と連絡をしました。高橋氏には快く応じていただき、手島訪問が実現することとなりました。観光課の方にも手島と糸がつながったことを報告いたしました。

- ・4月23日(日) 第1回訪問 手島港近くの畑を見学 苗有 畝80cm 溝60cm (参加6人)
- ・6月27日(火) 第2回訪問 香川本鷹の成長ぶりを確認 高さ1m 青い実がある
ひまわりの島らしく、道端にひまわりが多く植えられている (参加1人)
- ・7月30日(日) 第3回訪問 畑は猛暑だったが、JR、連絡船、手島コミュニティセンターは冷房が
完備されており快適 プラタモリ調の質問を用意して高橋氏に質問

- Q1 高橋さんの栽培はいつから? A 今年で2年目。
2 香川本鷹の辛い部分はどこ? A からの中央・胚胎、種子を守っている部分。
3 水はあるのか? A 山が高いので水はある。水は3週間に一度、多いと辛みが減る。
4 電気はあるのか? A 海底送電してもらっている。
5 栽培は高橋さんだけ? A 手島では私のみ。他所では香川本鷹と言わない別の種を栽培。
6 香川本鷹の販売先は? A 1社のみに卸している。今後はどうするか考慮中。

感想 手島は本当に美しい島です。もっと多くの人に手島のよさを欲しいと思います。

日本画が専門の高橋氏、心優しく、謙虚なお人柄にとっても惹かれました。美しい風景の中に揺れる美味しい「香川本鷹」をもっと多くの方に味わって頂きたいと思います。高橋氏におかれましては、今後も、暑さに強い香川本鷹のようにご活躍されることを祈念しております。(藤本英佐子 記)



久しぶりの学生研修旅行 ～JFE スチールと倉敷～

藤本芙佐子



ウイルス禍のため、4年ぶりの研修旅行の実施でした。行き先は、学生らしいといえる JFE スチール西日本製鉄所(倉敷地区) の見学と倉敷美観地区の散策でした。この企画を知った時から気持ちはわくわくし当日が来るのが待ち遠しかったです。見学した JFE スチールは、天然の運河である瀬戸内海に面した水島コンビナートに立地しており、その敷地の広大さに圧倒されました。通勤用自動車

も大変な数で、私なら自分の車を見失うだろうと心配するぐらいです。敷地面積は、福山地区を含めると東京ドームの約 540 倍という広さ、従業員数は JFE スチールで 4,000 人、グループ企業を併せると 10,000 人という多さです。

バスを降りて見学したのは圧延工場です。圧延部において鋼板を 400mm の厚さから 1mm 以下の薄さに加工していく工程です。見学した日は、ちょうど設備点検作業のためラインが稼働しておらず残念でしたが、延々と続く巨大な設備の数々を見ることができました。また、見学用通路の手すりを触ると、すずや鉄粉で軍手が真っ黒になり製鉄所のすごさを肌で感じるすることができました。

JFE スチールでは、鉄鉱石などの原料の輸入から製品の生産・出荷にいたる製造プロセスに沿って各設備がうまく配置されており、効率的な生産がなれています。また、JFE スチールでは環境に配慮し、廃棄物(可燃ごみ、焼却灰など)を高温処理しセメントの材料等に再生したり、スチール缶や古鉄を溶かして新しい鉄を作ったりしています。熱エネルギーと新たな資源の創出は、世界中から大きな拍手を持って喜ばれています。ところで、JFE とは、“Japan Future Enterprise” の略で、鉄鋼とエンジニアリングをコアにした「日本を代表する未来志向の企業グループ」であることを表しています。そして、企業内教育、人材育成に力を入れており、まさに「企業は人なり！」で尊敬してやみません。おみやげに頂いた JFE の刻印が入ったスプーンを大切に使いたいと思います。

製鉄所の見学を終え、次に倉敷美観地区へバスで移動しました。まず、倉敷アイビースクエア内にあるレストラン「蔦」で昼食をとりました。かつてレンガの壁を覆っていた蔦をイメージさせる店名と内装でした。丁寧に料理され上品に盛り付けられた料理はととても素敵で美味しくいただきました。このレストランは、倉紡時代の原綿倉庫だったそうです。私自身、かつて原綿に接してしまして、麻材の原綿外装は 1 個 400 ポンド(1 梱) だったと思い出しました。

昼食後、倉紡記念館を見学しました。記念館では、昔の糸を紡ぐ、織る機械も展示されており、糸偏産業を懐かしく思い出しました。最後に、倉敷美観地区を訪れました。白壁の蔵屋敷、なまこ壁、柳並木、川船など、倉敷川沿いのレトロモダンな景観を楽しみました。外国人観光客も多く来られており、これからも世界中から愛され続けるだろうと日本のよさを自慢したい気分になりました。

人力車などぜひ乗りたいと思いましたが、時間の都合もあり実現しませんでした。良い天候に恵まれ帰りたくない気分では一日は終了となりました。同行の皆様に感謝いたします。

第9回放送大学同窓会 中国・四国地区交流会 島根大会

ウイルス禍を抑えたい気持で香川から3人・松江市の交流会へ参加しました。到着が少々遅れましたのですぐに開会です。正面に岩永学長先生がおいでになり、お隣には同窓会連合会会長、副会長、島根 SC 出口所長、島根竹下会長・小泉凡先生、皆様のご臨席です。

初めに竹下会長の開催挨拶。主催地 SC 出口所長のご挨拶。次は岩永学長先生の講演です。

学長先生の講演 “放送大学-最近の話題”

- ① 次世代教育研究開発センターと IR 室の設置
*これまでの授業の見直しとメディア利用の新タイプの授業開発 *データに基づく IR 室
- ② 若年学生への配慮と高大接続*若年学生の入学目的や動機を把握してそのニーズに対応
- ③ 社会環境の変化と放送大学における DX *放送大学の授業—不易と流行—
年々増加するライブ授業 これは魅力的です。時間場所はどこでも。一流講師授業がある。

【放送大学チャレンジ募金】放送大学創立 40 周年記念募金 目標額 1.5 億円

誰も取り残さない学びの実現のために。同窓会連合会も大学が掲げる挑戦を応援します。

“同窓会連合会より”R24/3/24 の卒業・修了式は京王プラザホテルで開催予定です。

“小泉 凡先生の講演” 小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)ー1850-1904ー

八雲の松江滞在は1890年/1891年の443日間。作家、文学者、教師、ジャーナリスト民俗学者の多面性を持つ。ギリシャ生まれ、2歳以降アイルランド・19歳から米国へ。その後日本へ。尋常中学校、師範学校、現熊本大学、早稲田・帝国大学で英文学を教える。生涯で30冊の著書。ひ孫の凡先生が健在で八雲氏の存在は大きく私たちの中で生きています。

“中四国同窓会の情報公開”

- 徳島 吉野川市の河川の環境を守る NPO 法人の理事長として活躍中。
- 香川 卒論を書く人への応援・チャレンジ資金で応援します。島ネットの実施。
- 愛媛 「ワクワク同窓会」県内、四国地区の自然に浸り、その自然と歴史を学ぶ。
- 高知 勤務退職後、特技の木工技術を生かし、仏像制作・精緻な技で美術展出展。
- 鳥取 依存症の理解を深めるための活動を実施中です。
- 岡山 科学わくわくクラブは地域貢献活動。子供が理科に興味を持つように活動。
- 広島 学習センターとの良好な関係を築いています。
- 山口 オモチャ病院の医師としてボランティア活動実施です。
- 島根 大山観光ボランティアガイドをして活動しています。

“雄大な松江城、外堀を巡る”竹下会長の鯛恵比寿を拝見。不昧公のおかげの“お抹茶”を頂く。特別ご縁の特急【やくも】で往復出来て、よい体験でした。(藤本芙佐子 記)



統合から充実へ さらなる発展を目指して

記念行事実施の成功を踏まえて

令和5年度 放送大学 香川ほうゆう同窓会役員は次の通りです

会員皆様のご協力をお願いいたします。

| | | | | | |
|------|---------|--------|--------|-------|-------|
| 会 長 | 宮北 薫 | 副会長 | 藤本 芙佐子 | 市原 義博 | |
| 事務局長 | 岡本 幸晴 | 会 計 | 寶田 洋子 | 後藤 信義 | |
| 監 事 | 篠原 育子 | 松井 政行 | | | |
| 理 事 | 奥谷 義典 | 大西 良二 | 松原 泰子 | 菊池 澄子 | 関 義久 |
| | 市原 紀子 | 野崎 昭子 | 植松 隆郎 | 宮地 豊二 | 福森 誠一 |
| | 渚 正幸 | | | | |
| 顧 問 | 有馬センター長 | | | | |
| 相談役 | 大北 穆 | 西原 由紀子 | 岡部 元一 | 山田 勲 | 渡辺 義雄 |

活動へのご要望やご意見及び会報の原稿・お便り・写真等をお寄せください。

(テーマ) 自由 (未発表のもの)

(文字数) 600字 (A4-1枚) 程度以内。

(締切り) 随時受付しております。

(宛 先) 〒760-0016 高松市幸町 1-1 (香川大学内) 放送大学香川学習センター気付
香川ほうゆう同窓会事務局宛て

<Eメールアドレス> Kd.setonokaze@gmail.com

〈編集後記〉

何と言っても記念行事は、この会にとっての一大イベントでした。式典や公開講演会、それに続く祝賀会の様子は記事の通りです。写真に写っている自分や学友の姿をみて、あの日をしのんで下さい。これまでに詠んだ和歌を一連の物語風にならべて、記念行事へのお祝いとしてお送りいただきました。歌との出会い、放送大学との出会いの喜びは貴重なもので我々もその喜びを分かち合ひましょう。放送大学は、科目に語学の充実をみる大学です。その点をうけて、英語はもとより、韓国語、中国語、ロシア語、インドネシア語まで原語の原稿をお寄せいただきました。ドイツ語また中国語の記事をお送りいただいた方、惜しみて余りあるものですが紙幅の都合で割愛せざるを得ませんでした。深くお詫び申し上げます。JFE スチール西日本製鉄工場の見学、倉敷アイビースクエアでの食事、倉紡記念館見学会倉敷美観地区の散策。10月23日(月)のバスハイクも忘れ難いものです。第9回放送大学同窓会中国・四国地区交流会島根大会へ参加して、島ネット、卒業論文チャレンジ基金による雲外蒼天賞の授与も他地区からの関心を引きました。発足・周年記念行事を盛会のうちに終えたと誇りを持って報告しました。いま思い起こしてみますとまさに各位のご協力あってこそ記念行事は成功裏に終わったのだとの感を強くしました。岸田総理は国会で、経済、経済、経済と三連呼しましたが、編集子は、会長をはじめ役員一同と共に、ここで感謝、感謝、感謝と三連呼して末筆を置きます。お手元にお届けした記念号のご一読を願うや切なるものがあります。